

29年8月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 8月1日～ 29年8月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 29/8月 | 9月 | 10月 |
|------|------|--------|--------|--------|
| 入荷動向 | スギ | △ 16.7 | 30.0 | 20.0 |
| | ヒノキ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | 12.5 | 25.0 |
| | トドマツ | 25.0 | △ 25.0 | 0.0 |
| 消費動向 | スギ | △ 16.7 | 20.0 | 10.0 |
| | ヒノキ | △ 12.5 | 12.5 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | 20.0 | 20.0 |
| | トドマツ | 0.0 | 25.0 | 25.0 |
| 在庫動向 | スギ | 8.3 | 30.0 | 20.0 |
| | ヒノキ | △ 12.5 | △ 12.5 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | 10.0 | △ 10.0 |
| | トドマツ | △ 16.7 | △ 16.7 | 0.0 |

・国産原木の入荷動向は、スギは8月の減少から9月、10月は増加に。ヒノキは3カ月連続横ばい推移。カラマツは8月の横ばいから9月、10月は増加に。トドマツは8月の増加から9月は減少、10月は横ばいに。
・消費動向は、スギは8月の減少から9月、10月は増加に。ヒノキは8月の減少から9月は増加、10月は横ばいに。カラマツは8月の横ばいから9月、10月は増加に。トドマツは8月の横ばいから9月、10月は増加に。
・在庫動向は、スギは3カ月連続増加。ヒノキは8月、9月の減少から10月は横ばいに。カラマツは8月の横ばいから9月は増加、10月は減少に。トドマツは8月、9月の減少から10月は横ばいに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 29/8月 | 9月 | 10月 |
|--------|-------|------|------|
| スギ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ヒノキ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| カラマツ | 16.7 | 20.0 | 20.0 |
| 米マツ | 50.0 | 50.0 | 50.0 |
| 北洋カラマツ | 25.0 | 50.0 | 50.0 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

・合板用原木の購入価格動向は、スギ、ヒノキ、その他は保合い。
・カラマツ、米マツ及び北洋カラマツは強含み。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・9月、10月はスギの入荷量を若干増やす予定。消費は、フロー台板の受注が堅調でトドマツの消費が増える。在庫は、スギ丸太の在庫調整が進み適正在庫になってきた。
・原木は順調に入荷。8月は休日が多く生産減のため消費も減に。9月から増加する。在庫は相変わらず。
・カラマツ増産につき入荷・消費量ともに増。
・ほぼ計画通り入荷・消費。在庫はほぼ横ばい。
・入荷は順調で雨の影響だけが心配。生産はフル回転で消費は順調。稼働日数の問題で当月(8月)は減少する。在庫は、スギは増やしていきたい。ヒノキは在庫が増えたため調整しながら入荷する。
・お盆休みのため入荷・消費とも減少。生産に合わせての入荷により横ばい。

(原木価格)

・原木の購入価格は、国産材は横ばい。外材は、北米での山火事の影響により、米マツ、北洋カラマツは目先価格上昇するものと予想される。
・カラマツは今月から値上げ、ロシア材は強気変わらず。
・購入価格は多少の変動はあるものの横ばい。
・秋口以降、原木価格は上昇していく。市況を見ながら購入を調整する。
・北洋カラマツの価格は少し上昇、スギ、カラマツはほぼ横ばい。

29年8月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 29/8月 | 9月 | 10月 |
|------|----------|--------|--------|--------|
| 生産動向 | 構造用(9mm) | △ 33.3 | 20.0 | 10.0 |
| | 〃 (12mm) | △ 21.4 | 25.0 | 16.7 |
| | 〃 (15mm) | △ 28.6 | 16.7 | 8.3 |
| | 〃 (24mm) | △ 35.7 | 8.3 | 0.0 |
| | 〃 (28mm) | △ 28.6 | 16.7 | 8.3 |
| 出荷動向 | 構造用(9mm) | 0.0 | 10.0 | 10.0 |
| | 〃 (12mm) | 14.3 | 16.7 | 16.7 |
| | 〃 (15mm) | 7.1 | 8.3 | 8.3 |
| | 〃 (24mm) | 0.0 | 8.3 | 8.3 |
| | 〃 (28mm) | 0.0 | 8.3 | 8.3 |
| 在庫動向 | 構造用(9mm) | △ 16.7 | △ 10.0 | △ 10.0 |
| | 〃 (12mm) | △ 21.4 | △ 8.3 | △ 8.3 |
| | 〃 (15mm) | △ 21.4 | △ 8.3 | △ 8.3 |
| | 〃 (24mm) | △ 28.6 | △ 8.3 | △ 8.3 |
| | 〃 (28mm) | △ 21.4 | △ 8.3 | △ 8.3 |

・構造用合板の生産動向は、全ての品目で8月の減少から9月、10月は増加に。

・出荷動向は、9mm, 24mm, 28mmは8月の横ばいから9月、10月は増加に。12mm、15mmは3カ月連続増加。

・在庫動向は全ての品目で3カ月連続減少。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 29/8月 | 9月 | 10月 |
|----------|-------|------|-----|
| 構造用(9mm) | 0.0 | 16.7 | 0.0 |
| 〃 (12mm) | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 〃 (15mm) | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 〃 (24mm) | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 〃 (28mm) | 0.0 | 14.3 | 0.0 |

・構造用合板の出荷価格動向は、全ての品目で8月は保合いから9月は強含み、10月は再び保合いに。

モニターからのコメント

(構造用合板の荷動き)

- ・12mmの引き合いが強いので、厚物の生産を若干減らし12mmの生産を増やしている。出荷は堅調だ。在庫量はなかなか増えない。
- ・当月は夏季休暇及び機械のメンテナンス等により生産減少傾向。出荷は計画どおりでほぼ横ばい。在庫は全ての品目で横ばい。
- ・生産はお盆休みにより全品目減。生産した製品は出来るだけ出荷している。生産減、集荷量は先月並みにより在庫は減少。

(構造用合板の価格)

- ・構造用合板の出荷価格は横ばい。
- ・全ての品目で横ばい、変化なし。
- ・出荷価格は、生産・出荷していない9mmを除き全て横ばい。
- ・原木、副資材等の価格上昇がみられるが、出荷価格は様子見状態。
- ・出荷価格は全品目ほぼ横ばい。9月は値上げする予定。